



JAMCA ニュース

No.86

2015 年 7 月 1 日

発行
協会事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会

〒160-0015 東京都新宿区大塚町 31

ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

編集事務局

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3

☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

自動車整備士の待遇改善を！

群馬自動車大学校・東京自動車大学校理事長
全国自動車大学校・整備専門学校協会 理事・顧問

小倉 基義

近年中国やインド、アジア諸国等の発展にけん引されて世界の自動車市場は拡大傾向にあり、数年後には世界の自動車販売台数が1億台を突破するとの見解もあるほど拡大を続けております。その中で日本経済はアベノミクス効果や円安により、海外展開を進めてきた企業や自動車メーカーをはじめとする輸出企業を中心に業績が回復した結果、優秀な人材の確保、あるいは社員のモチベーション向上や待遇改善を背景とした賃上げが実施され、デフレ脱却に向けた動きが出ております。

この日本経済を支えており、移動手段の主軸である自動車の国内保有台数は半世紀前の昭和40年には約700万台でしたが、平成26年には8,000万台を超えました。このうち乗用車（軽自動車を含む）の保有台数は半世紀の間一度も減少することなく6,000万台に到達しております。少子高齢化に伴い人口減少の時代に入りましたが、自動車は生活に欠かせない移動手段ですから保有台数はこれからも維持されていくと思います。

その一方で、これらの自動車の安全・環境を支える自動車整備士は、自動車の使用期間の長期化等を背景とした自動車ディーラーによる整備部門の拡充や団塊世代の引退、自動車整備専門学校への



入学希望者の減少・低迷により人材不足が近年顕著となっております。今、特に人材不足が深刻化している職種は歯科衛生士、美容師そして自動車整備士です。歯科衛生士の確保は厳しいため、歯科衛生士の資格がない歯科助手を雇っている歯科医院が多いですが、歯科衛生士を確保するため給与だけでなく完全週休2日制など休日等を充実させ人材確保に努めており、この待遇改善が求人広告などで周知されてきたことで少しずつ変わってきております。また、美容師は人気店が集まる原宿などの一部の地域を除いて給与などの待遇改善が見られるようになりましたし、独立開業により自力で待遇改善をしている若者が増えてきております。

さて、自動車整備士ですが、自動車整備士を確保・育成するためJAMCA 会員校が学生募集や教育の

充実に努力することはもちろんのこと、更に営業ができる整備士を育成することが必要で、これではじめて待遇改善への条件が揃ってくると思います。また、国を含めた関係団体、業界が一体となり自動車整備士のイメージアップを図るためのPR活動、そして整備事業の基盤を維持するために中心的な役割を担う一級自動車整備士の資格取得に対するインセンティブを是非ご検討頂きたいと思っております。そして、自動車整備士の魅力を向上させるためには歯科衛生士や美容師で見られるように待遇改善が不可欠であります。関係各位の皆様におかれましてはこの待遇改善についてお考え頂きたいと思っております。

待遇改善が進み世間に周知されることで自動車整備士になりたいという人が増え、自動車整備士の社会的地位が向上され、自動車の安全・環境が更に向上されることで我が国の自動車産業が益々発展していくことを願って止みません。

CONTENTS

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 2 面 | 基礎学力向上、高校生の学力の現状等について |
| 3 面 | 我が校自慢 |
| 4 面・5 面 | Honda の V2X
～来る水素社会へ向けて～ |
| 6 面 | 協会トピックス |
| 7 面 | 活躍!! 卒業生・地区通信 |
| 8 面 | 私の教材活用・お知らせ・編集後記 |